

令和6年4月1日

お客様各位

株式会社環緑
代表取締役
中山賀央



Re: ロッキイ使用原料の切り替えについてお知らせのこと

拝啓、

陽春の季節、皆様におかれましては日々ご健勝のこととお察し申し上げます。

日頃は、弊社「根域空気供給機 ロッキイ」のご愛顧、ご活用を賜り、心より感謝申し上げます。この度、掲題に就きまして、下記お知らせ申し上げますと共に今後も安全にご利用いただけますよう努めて参ります。今後ともよろしく願いいたします。

敬具

記

・既原料 PVDF（ポリフッ化ビニリデン）からポリプロピレンに変更致します。

ご既承のことと存じ上げますが、欧州の化学物質管理規制である REACH 規則において、有機フッ素化合物（PFAS）を規制する提案が、2023年1月13日にデンマーク、ドイツ、オランダ、ノルウェー、スウェーデンの5つの当局から共同で欧州化学品庁（ECHA）に提出され、2月7日に公表。本規制提案は欧州で最大級の化学物質管理規制になるとされています。PFASはその環境残留性や生態蓄積性から、永遠の化学物質（Forever Chemicals）と呼ばれ、また人への有害性が懸念されています。PFASを製造するメーカーの1つである米スリーエム（3M）は2022年12月20日、2025年末までにPFAS製造を中止すると発表しており、また日本においても環境省が「PFASに対する総合戦略検討専門家会議」を2023年1月に立ち上げるなど、世間の注目も高まりつつあります。

弊社といたしましては上記規制の猶予期間よりも先だって商品の原料を変更することを決定いたしました。これまではPVDFを利用し製造していましたロッキイをポリプロピレンに素材に変更を致しますことご連絡申し上げます。現状PVDF在庫が無くなり次第ポリプロピレン素材に変更となります。既に変更、出荷している商品も御座いますのでご承知おき頂きたく存じます。

SDGsの17の目標の達成プロセスの一つとしても、上記変更にご理解ご承認の程よろしく願いいたします。

以上